

茅ヶ崎セントラルクリニック

加藤 由美子（看護師 / 看護部）

功 績 透析患者さんの生命線であるバスキュラーアクセスの安定管理を看護の力で支えるため、自ら課題を認識し資格を取得、現場の質向上と安全性の確保に大きく貢献した功績

推 薦 者 上原直行（事務長）

推 薦 理 由 透析患者の生命線であるバスキュラーアクセスの安定管理を看護の力で支えるため、自ら課題を認識し資格を取得、現場の質向上と安全性の確保に大きく貢献したことは、理事長賞に相応しいと考えます。

内 容

加藤は、透析看護においてバスキュラーアクセス（VA）の管理が患者さんのQOLと治療継続に直結する重要課題であると自ら強く認識し、その専門性を高めるべく、自主的にバスキュラーアクセス看護管理者資格の取得に取り組みました。日々の臨床業務の中で、VAトラブルが患者さんに与える影響の大きさを痛感し、「安全・安定した透析を提供するには看護の力が不可欠」との信念のもと、学びと実践を積み重ねました。

資格取得後は、施設内におけるVA管理体制の整備に力を注ぎ、穿刺手技の標準化やスタッフ教育の充実、トラブル予防に向けた多職種連携の推進など、多方面にわたる取り組みを精力的に展開しています。また、患者一人ひとりのアクセスに応じた個別対応を実践し、安全性と快適性の両立を追求する姿勢は、同僚からも厚く信頼されています。

このように、自ら課題を見出し、解決に向けて行動を起こす主体性と、実践に根ざした看護力は、現場の模範であり、看護専門職として非常に高く評価されるべきものです。よって、加藤を理事長賞に推薦いたします。